

千葉動力車



『緊急経営対策推進本部』設置を提案

な許合統基貨金格差貨物

日貨物の裏切り弾劾

九月二十九日、JR貨物会社は、「今年度は開業以来かつてない厳しい経営状況に直面している」として、これを打開するために、棚橋社長を本部長とする「緊急経営対策推進本部」を本社に設置するとともに、各支社にも同様な体制を設置する」としている。

緊急経営対策推進本部に三分科△云を設置する

提案では、三つの分科会を設置し、以下の内容を推進するとしている。

1. 収入拡大分科会
列車のランク別、余剰輸送力活用等を中心に実効ある個別具体策を樹立する。
関連事業収入についても新しい展開を図る。
2. コストダウン分科会
徹底的経営削減策の実行の前倒し実施。
3. 出向対策分科会
関連会社を対象に出向人員の拡大と出向単価アップを図る。

さらに分科会は、九月中に対策を確立し逐次実行に移すとしている。

会社側は、「今年度の取扱収入において、四〜八月で前年度対比四五億円の減収となっており、かつてない厳しい状況に直面している。これを打開するため、総力を上げて必要な対策を講じなければならぬ。」とし、以下の提案を行ってきた。

以上の提案に対し、組合側から

JR貨物会社として、何をどうやって行くのか。具体的に明らかにされていない。
現場労働者に対し、今回の提案は、不安を助長させるようなものであり、経営の中核は具体的な将来展望を明らかにし、職場での不安を解消する責任がある。
と追及したことにに対し、会社としては、
現在、個別に検討中であり、具体化したら別途説明したい。
という説明だけであった。

分割・民営化の矛盾の労働者への転嫁を許すな！

JR貨物は、国鉄分割・民営化の矛盾が集中しているところである。レールを持たない貨物会社

は、膨大な老朽設備更新の必要性(特に貨車の台枠の取り替えなど)、レール使用料の値上げなどによる深刻な経営危機を背景に、「八千人体制」合理化攻撃を本格的に開始しようとしているのである。

基地の統廃合・合理化阻止！

昨年、浜松地区で発足した駅、機関区、施設などを統合した「総合鉄道部」が、今年計画では郡山、静岡、米子、熊本地区に拡大されている。

われわれは、分割・民営化強行ゆえの構造的矛盾、経営の危機をすべて労働者に犠牲を転嫁して乗り切り策を行おうとする「緊急経営推進本部」の設置は容認することはできない。

経営危機を理由とする年末手当削減を許すな！日貨物の裏切り弾劾！

また、断じて許せないことに、

日貨物は、「貨物会社は、『物流部門』であり、賃金格差については、旅客会社と比較すべきではなく、物流関係の中で比較すべきである」という論理を率先して言い始め、この間、貨物会社労働者を裏切り、格差を是認してきたこと

を弾劾しなければならない。

今後、経営危機を理由にした年末手当の削減、合理化攻撃を許さない闘いを組織をあげた体制をつくりあげなければならない。
基地統廃合・通勤改善阻止、格差攻撃粉碎の闘いを一二・一ダイ改阻止闘争と結合し闘い抜こう！

貨物・旅客の分断攻撃を許さず、JR体制打倒の闘いを粘り強く展開しよう！

12・1ダイ改要求
意見交換会を
職場で行おう $\frac{1}{4}$ $\frac{3}{16}$

10・21国際反戦デー 10月21日・18時

東京・六本木・高台公園

10・24三里塚

全国総決起集会

10月24日 平井・三里塚現地